

安定的な受注の

確保を目指して

ACTIVE KUMIAI

山梨県警備業協同組合

山梨県警備業協同組合(古屋仁理事長)は、平成10年4月、県内で雑踏警備を行っている14業者によって設立された。

設立の経緯については、長期化する不況の中、警備業界においても他の多くの業種と同様に、顧客からのコストダウンの要請を受けていること、平成9年4月から施行された法定労働時間の週40時間制により、警備員の人件費も実質的に上昇したこと、また、「警備業法」によって警備員が定期的に有給で研修を受けることが義務づけられていること、警備料金が減少傾向にある中で経費が増大しているなど、厳しい経営課題を抱える警備業者が、受注機会の拡大を図るとともに、コスト削減のための共同事業の展開を通じて、個々の企業の経営の合理化と安定に取り組む必要があったことが要因であった。

このような中、組合は短期間で大人数の警備員の派遣が必要となり、単独企業で行うことが難しい業務を中心に営業活動を行い、「JRイベント列車(SL・D51)運行警備」「F1日本グランプリの交通誘導警備」等の単発の大型イベントの他に「富士山五合目及び山麓駐車場等警備」や各市町村が開催する花火大会等の恒例化しているイベントの受注にも成功するなど、実績をあげている。

平成19年には関東経済産業局から官公需適格組合の証明も受け、更なる受注拡大にむけて、積極的な組合活動を行っている。

また、(株)山梨県警備業協会との連携により警備員のモラルアップのため実技講習会の開催、独自の人材プログラムの作成など、サービスの質的向上にも積極的に取り組んでいる。



実技講習会



富士山警備には毎年多くの警備員が配備される